

日本地域経済学会第16回（横浜）大会・総会開催要項

（敬称略）

1. 日時：2004年11月6日（土）～7日（日）

2. 会場：横浜国立大学経済学部

3. 現地実行委員会事務局

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-4

横浜国立大学大学院国際社会科学部研究科棟 8階管理室 中村剛治郎研究室気付

FAX：045-339-3574

4. 日程：

① 共通論題：国際シンポジウム・東アジア諸国における地域的不均等発展の国際比較

11月6日（土）13:30～17:00 経済学部講義棟 2号館 211教室

主催：日本地域経済学会、横浜国立大学経済学部附属貿易文献資料センター

協力：日本環境会議環境再生政策研究会臨海部再生部会

（共通論題趣旨）アジア経済の発展は、アジア諸国内における地域的不均等発展の激化をともなっている。本シンポジウムは、日本・韓国・中国各国における地域的不均等発展と地域政策の現状について、アジアの視点に立って国際比較の検討を行い、地域経済学の発展とアジアにおける地域経済学研究者間の国際交流を図ることをめざす。

報告：

（1）劉 偉東（中国・東北財経大学）

「中国における地域経済の二つの発展方式

－東北地方を事例とする外発的開発の現状と内発的発展への道」

（2）黄 漢植（韓国・釜山大学）

「韓国の地域不均等発展と地域政策」

（3）岡田 知弘（京都大学）

「日本における地域経済の不均等発展と地域政策」

司会：佐々木 雅幸（大阪市立大学）

② 地域公開シンポジウム「京浜臨海部の都市再生」

名称：地域公開シンポジウム「京浜臨海部の都市再生」

主催：横浜国立大学経済学部プロジェクト研究「京浜臨海部の都市再生」チーム、

日本環境会議環境再生政策研究会臨海部再生部会

日本地域経済学会

日時：2004年11月7日(日) 13:00～16:30

会場：横浜市保土ヶ谷区常盤台79-3 横浜国立大学経済学部

講義棟2号館211教室

趣旨：

いま関心を集めている都市再生や環境再生について、一般論ではなく実証的政策論的に研究する立場から京浜臨海部に焦点をあて、検討する。バーミンガムへの現地調査に基づくイギリス都市再生の現状報告や、韓国・中国の地域経済学者による韓国や中国における地域開発の現状についての特別発言も受けたい。地域公開シンポとすることにより、地域の市民・行政・企業など多くの人々と意見交換や交流の機会がもてることを期待したい。

報告：

(1) 佐無田 光 (金沢大学)

「京浜臨海部の産業構造と環境再生」

(2) 尾崎 寛直 (東京経済大学)

「地域における主体の再生から環境再生へ」

(3) 三井 逸友 (横浜国立大学)

「地域産業政策と都市再生

－英国における地域再開発・産業振興と都市再生への試み・Glasgow、Birmingham」

特別発言：劉 偉東 (中国・東北財経大学)

黄 漢植 (韓国・釜山大学)

氏川 恵次 (横浜国立大学)

コーディネーター：中村 剛治郎 (横浜国立大学)

③ 日本地域経済学会・自由論題報告

11月7日(日) 午前9時30分、経済学講義棟2号館211,212教室

第1分科会(211教室) 司会：木村 琢郎 (横浜市立大学)

報告：

(1) 工藤 貴子 (北海学園大学大学院博士課程)

「地方中核都市・農村地域における内発的発展の問題点と課題について

－北海道帯広市とその周辺地域における事例から－

(2) 小池 一成 (高崎経済大学大学院博士課程)

「産官学連携による地域産業競争力強化の現状と課題

－群馬県中央地区の事例を中心に－

(3) 榊原 雄一郎 (福井県立大学)

「地域開発政策における分工場と地域内産業連関についての一考察

－進出事業所の企業内地域間分業と生産過程の視点から－

(4) 鈴木 茂 (松山大学)

「紙パルプ産業の地域集積の特徴と紙産業クラスター」

第2分科会 (212教室) 司会: 高原 一隆 (北海学園大学)

報告:

(1) 新井 直樹 (高崎経済大学大学院博士課程)

「市町村合併と地域経済活性化に関する一考察」

(2) 清水 陽子 (奈良女子大学大学院博士課程)・中山徹 (奈良女子大学)

「工場閉鎖・撤退による影響に関する研究—事業者から見た影響とその傾向」

(3) 横山 哲朗 (神戸大学大学院 OD)

「名護市総合計画の開発思想の検証

—潜在能力アプローチと現代的貧困論による逆格差論の再構築—」

(4) 山崎 圭一 (横浜国立大学)

「ポスト通貨危機のブラジル地域経済の変化について」